

Business Report

2009.9.1 ▶ 2010.8.31

2010年8月期 証券コード：2157



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 コシダカ ホールディングス

コシダカ **20**年の軌跡

うれしいを、ふくらまそう。

総合余暇サービス提供企業として、次なる20年も走り続けます。

カラオケ事業店舗数の推移と
コシダカの歩み



🐾カラオケ本舗🐾
まねきねこ



2010年

- 4月 カラオケ本舗まねきねこ 300 店舗目(足利朝倉店)開設
- 7月 (株)韓国コシダカ設立
- 9月 (株)コシダカホールディングスに組織、名称変更
(株)スポーツの株式取得(子会社化)

2008年

- 9月 (株)北海道コシダカ分社化
- 10月 (株)カーブスジャパンの株式取得(子会社化)

2007年

- 6月 資本金 4億9,360万円に増資
ジャスダック証券取引所に株式上場

2006年

- 3月 カーブス店舗 運営開始
- 9月 カラオケ本舗まねきねこ200店舗目(本庄店)開設

2004年

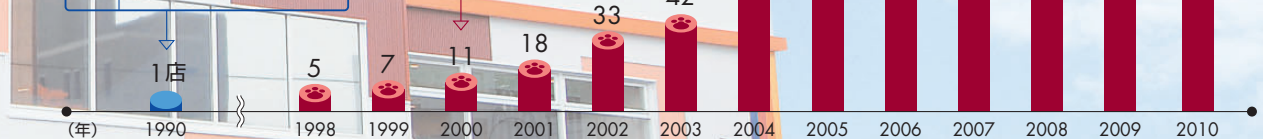
- 10月 カラオケ本舗まねきねこ
100 店舗目(別府荘園店)開設

2000年

- 3月 (株)コシダカに組織、
名称変更

1990年

- 8月 カラオケボックス1号店
(オイコット)開設



※店舗数は8月末現在

私たちは、(株)コシダカホールディングスを持株会社とする 新たな経営体制により、スタートを切りました。



代表取締役社長

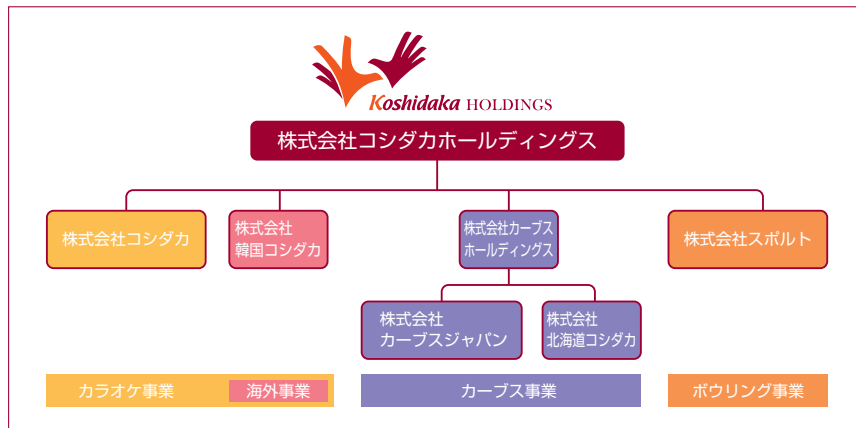
腰高 博

当社は、2010年9月1日付で純粋持株会社に移行し、(株)コシダカの商号を(株)コシダカホールディングスにあらため、傘下のグループ企業を再編しました。再編後は、カラオケ事業を展開する(株)コシダカ、カーブスFC事業を担う(株)カーブスジャパン、カーブス直営店運営事業を行う(株)北海道コシダカという組織になりました。さらに、ボウリング場運営事業を展開する(株)スポーツを子会社化し、カラオケ事業、カーブス事業、ボウリング事業を展開する総合余暇サービス提供企業として新たなスタートを切りました。

また、かねてからの目標だった海外進出を見据え、7月に(株)韓国コシダカを設立し、東アジアを中心とする海外市場にも積極的に挑戦できる体制としました。

おかげさまで、カラオケ事業創業から20周年。この節目を迎えた今、あらためて原点に立ち返り、経営の足元を固め直すとともに、今後も「既存業種新業態」を展開していくために、グループ一丸となって歩みを進めてまいります。

グループ概要





コシダカグループを取り巻く 経営環境と新たな経営方針

1 グループを取り巻く経営環境について

当期における国内の経済は、新興国の需要拡大などにより、輸出が増加し景気回復の兆しが見られた一方、雇用所得環境は依然厳しく、個人消費の回復には至りませんでした。このような経済環境を背景に、余暇活動関連支出は減少傾向が続き、関連各市場の縮小が続いているところですが、当社グループの展開しているカラオケ事業およびカーブス事業は、お客様の「安(リーズナブル)」「近(身近にある)」「短(時間がかからない)」という余暇に対するニーズに合致

し、多くのお客様からのご支持をいただくことができました。その結果、当期の連結業績は売上高219億32百万円(前期比15.7%増)、営業利益25億3百万円(同67.3%増)、経常利益25億79百万円(同80.6%増)、当期純利益11億25百万円(同104.7%増)と、大幅な増収増益となりました。特にカラオケ事業は、「カラオケ本舗まねねこ」が2010年4月に300店舗を達成し、7月には305店舗を突破し業界第1位のカラオケチェーンとなりました。

2 (株)スポーツの子会社化、(株)韓国コシダカ設立の背景

2010年9月、日本におけるボウリング場運営のパイオニアである(株)スポーツが当社グループの一員に加わりました。(株)スポーツは、1961年に大手総合商社と米名門企業の合弁企業として設立されて以来、半世紀にわたって、気軽に楽しいスポーツレジャーであるボウリングの魅力を多くの人に伝え続けてきた企業です。そして、誰もが気軽に参加できる健康ボウリング教室を展開し、新規顧客層を掘り起こすという素晴らしいノウハウを有しています。一方、ボウリング場は、

1970年代のブーム以来、今後は閉鎖や譲渡の案件が増加することが予想されており、当社グループが培ってきた「居抜き出店方式」での店舗展開をボウリング事業においても活かせるものと判断しました。

また、さらなる事業拡大のためには、今後成長が期待される東アジアで、日本国内で培ったノウハウを活かしたカラオケ事業の展開の可能性を調査・研究することが必要であると考え、7月に(株)韓国コシダカを設立しました。

3 純粋持株会社としてのグループ運営方針

当社グループは、「アミューズメント」「スポーツ・フィットネス」「観光・行楽」「趣味・教養」の4つの事業分野における「既存業種新業態」を展開する、総合余暇サービス提供企業となることを目指していますが、その実現のためには、各事業により深く特化し競争力を高めること、グループ間のシナジーを追求できる体制にすること、第4・第5の事業の創造・グループ内への取り込みが容易にできる体制にすることが必要であると考えています。そのために、当社がグループ全体を俯瞰できる純粋持株会社として適確に経営資源の配分を行い、各事業間におけるシナジーの最大化を図ることとしました。

●ホールディングス化の目的

「既存業種新業態」戦略の推進



1. … 各事業により深く特化し競争力を高める
2. … グループ間のシナジーを追求できる体制にする
3. … 第4・第5の事業の創造、取り込みが容易にできる体制にする

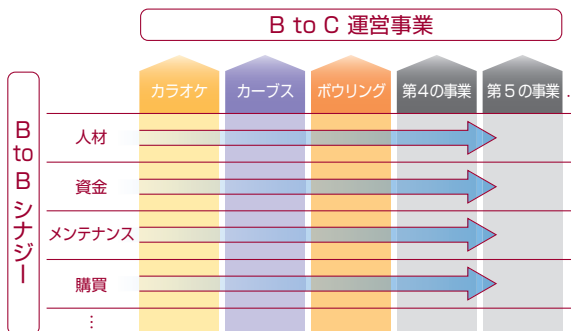
4 今後の事業展開について

今後は、新たに「ボウリング事業」を加えた各事業において、より深く特化し競争力を高めるとともに、様々な分野でのシナジーの追求、第4・第5の事業における「既存業種新業態」の創造に努めます。本年10月からは(株)コシダカにおいて温浴事業として「まねきの湯」の運営を開始し、今後の新たな事業としての可能性を検証してまいります。

株主の皆様への利益還元としては、内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としています。今後はカーブス・ボウリング等の様々なサービスをご利用いただける優待制度なども検討してまいりますので、株主の皆様におかれましては、末永くご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●ホールディングス化のシナジー効果

コシダカグループ 1,000億円 へ





(株)韓国コシダカを設立

当社は、さらなる事業拡大のためには、今後成長が期待される東アジアで、日本国内で培ったノウハウを活かしたカラオケ事業の展開の可能性を調査・研究するこ

とが必要と判断しました。そこで、2010年7月、カラオケ産業が比較的伸張している韓国に現地法人を設立し、同国での店舗展開の準備に着手しました。



社員独立制度「ピーアンビジャス」第1号店誕生

(株)コシダカでは、店舗開発、運営、計数管理など経営者の視点で店舗マネジメントができる人材を育て、自分の店を持つことを望むスタッフの独立を支援しています。2010年9月1日、「カラオケ本舗まねぎねこ 熊谷バイパス店」が、社員独立制度「ピーアンビジャス」の第1号店となりました。



ボウリング事業に参入

2010年9月、(株)スポーツの株式を取得し、子会社化しました。

(株)スポーツは、日本におけるボウリング場運営事業のバイオニアで、また「安」「近」「短」のスポーツであるボウリングを通じて周辺地域の健康増進活動に積極的に取り組んでいる企業です。



同社を子会社化することにより、当社グループがこれまでに培ってきたノウハウを活かして再生事業を推進し、新たに加わる「ボウリング事業」の収益拡大を目指すとともに、「カラオケ事業」「カーブス事業」とのシナジー効果を発揮することにより、グループ事業の一層の活性化を図ってまいります。





フィットネス クラブ業界 店舗数第1位

「気軽で楽しい、女性だけの30分フィットネス」のコンセプトを持ち、女性のキレイと健康を応援するカーブス事業は、当社グループが掲げる「総合余暇サービス」のスポーツ・フィットネスの事業領域からグループビジネスの柱となり、2010年8月末は864店舗、10月末には900店舗を超え、

日本全国に店舗網を広げております。新たな経営体制のもとで、FC事業を担う(株)カーブスジャパンと直営店を展開する(株)北海道コシダカは、カーブス事業の経営基盤をゆるぎないものとするため、今後もFC加盟店と一緒に歩みを進めてまいります。



「カラオケ本舗 まねきねこ」 店舗数第1位の カラオケチェーンに

2010年4月28日、「カラオケ本舗まねきねこ」は、足利朝倉店がオープンし、300店舗を達成しました。さらに、7月には305店舗を突破し、店舗数が全国第1位のカラオケチェーンとなりました。当期末における店舗数は、カラオケ事業全体では、前期末比15店舗増となる309店舗となりました。



足利朝倉店

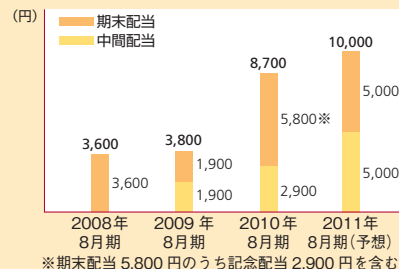


大幅に増配

株主の皆様への利益配分については、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としています。

当期の1株当たり年間配当金は、前期比4,900円の増配となる年間8,700円(中間配当2,900円、カラオケ事業20周年の記念配当2,900円を含む期末配当5,800円)とさせていただきます。

来期は、1株当たり中間配当5,000円に期末配当5,000円を加え、合計10,000円とさせていただきます。



カラオケ事業

緩やかな縮小傾向にあるカラオケ市場ですが、ここきて大手チェーンや個人店による新規出店が目立つようになり、カラオケボックス施設数は下げ止まり、顧客獲得競争はますます激しさを増してきております。

こうした経済情勢と事業環境の変化を踏まえて、既存店の集客力の維持と拡大を図るために、内外装のハード面の一新と料金等営業施策といったソフト面の見直し、そして集中的な販促キャンペーンを同時に行う大規模リニューアルを年間で48店舗実施いたしました。昨年度と同様に10～11月と2～3月には「感激！元氣！かんげん（還元）フェア」を行い、6月からは新しく「Bグルメフェア（全国B級グルメフェア）」を始めました。

また新たに、国内で培ったカラオケ事業のノウハウをアジア諸国でも展開するために、まず韓国に現地法人（株）韓国コシダカを設立し、同国での店舗展開の準備に着手いたしました。

当期末におけるカラオケ事業の店舗数は、17店舗の出店（「カラオケ本舗まねきねこ」の出店15店舗、「下町唱酒場浅草まねきねこ」の出店2店舗）と2店舗の閉鎖により、15店舗純増し309店舗となりました。

その結果、カラオケ事業の売上高は164億95百万円、営業利益は19億74百万円となりました。



前橋本店

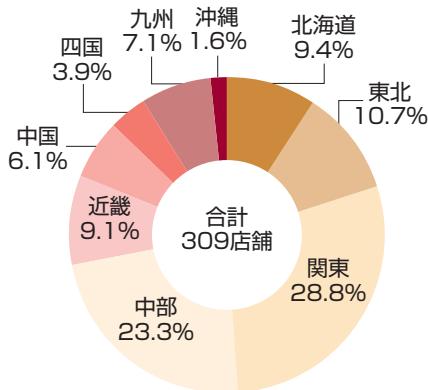


浅草まねきねこ高崎緑町店

店舗数（2010年8月31日現在）

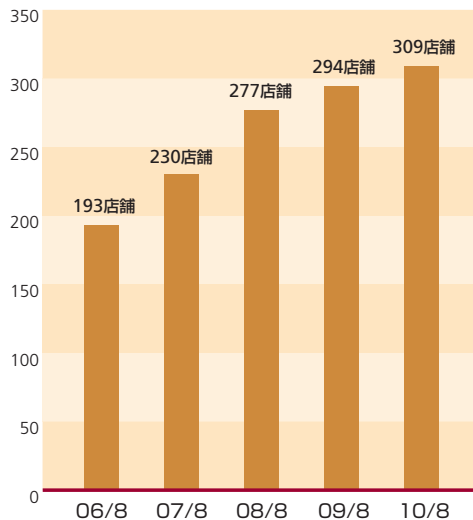
合計 309店舗

北海道	29店舗
東北	33店舗
関東	89店舗
中部	72店舗
近畿	28店舗
中国	19店舗
四国	12店舗
九州	22店舗
沖縄	5店舗



※小数点以下第2位を四捨五入しております。

店舗数推移



C カーブス事業

健康への関心の高まりが背景となり、「女性専用の30分フィットネス」としてカーブスは、中高年齢層を中心に徐々に認知が広がり、マスコミ・メディアに取り上げられる回数も増えてきております。

(株)カーブスジャパンはFC本部として、FC加盟事業者の新規開拓と多店舗展開支援ならびに既存加盟店の業績向上のための会員増強プログラムの開発と増強活動の展開支援、そしてスタッフの会員サービス力の向上施策を、本部での集合研修、地区別研修会・会議の開催、加盟店訪店など様々な形態で行っております。

また(株)北海道コシダカは、北海道地区と関東地区に直営店の店舗展開を引き続き行い、当期末における同社直営店舗数は10店舗(前連結会計年度末以降3店舗純増)となりました。

当期末における国内カーブス店舗数は前連結会計年度末以降110店舗純増(増加率14.6%)し864店舗に、会員数は前連結会計年度末以降68千人純増(増加率27.0%)し322千人となりました。

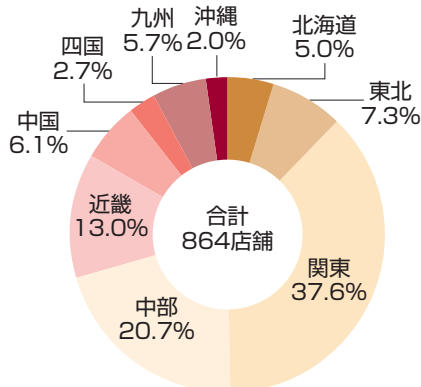
その結果、カーブス事業の売上高は54億36百万円、営業利益は5億29百万円となりました。



C 加盟店舗数 (2010年8月31日現在)

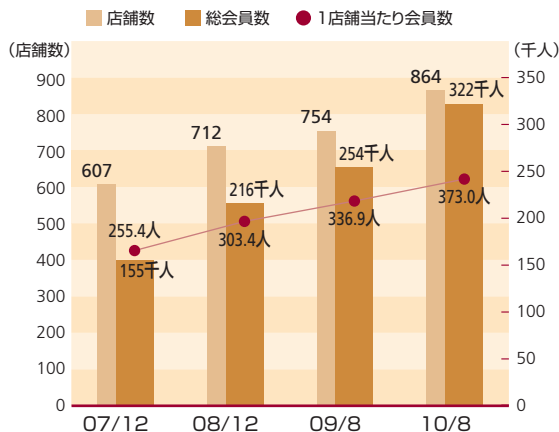
合計 **864店舗** (直営14店舗、FC850店舗)

- 北海道 **43**店舗
- 東北 **63**店舗
- 関東 **325**店舗
- 中部 **179**店舗
- 近畿 **112**店舗
- 中国 **53**店舗
- 四国 **23**店舗
- 九州 **49**店舗
- 沖縄 **17**店舗



※小数点以下第2位を四捨五入しております。

C 店舗数/総会員数推移

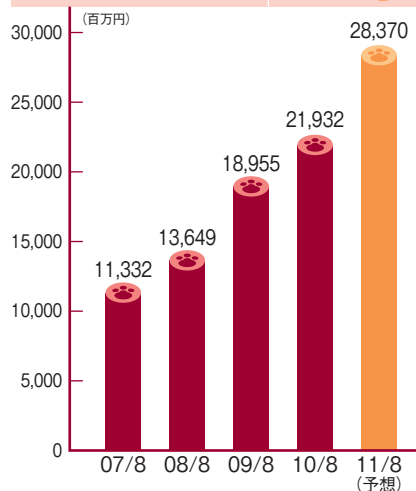


※(株)カーブスジャパンは、2009年8月期において決算期を12月から8月に変更しました。

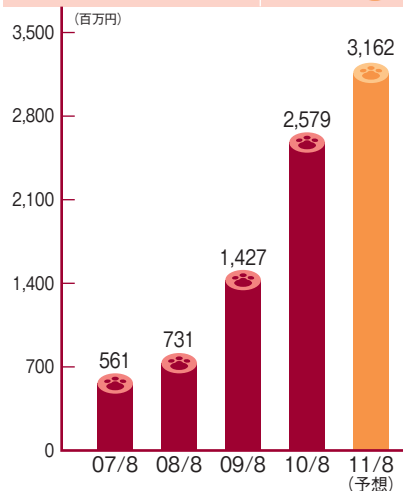
項目	2009年8月期	2010年8月期
売上高(百万円)	18,955	21,932
営業利益(百万円)	1,496	2,503
経常利益(百万円)	1,427	2,579
当期純利益(百万円)	549	1,125
総資産(百万円)	10,514	11,975
純資産(百万円)	2,699	3,751
1株当たり当期純利益(円)	22,909.84	46,887.82
1株当たり純資産(円)	111,644.56	153,648.52
自己資本比率(%)	25.5	30.8

●財務ハイライト

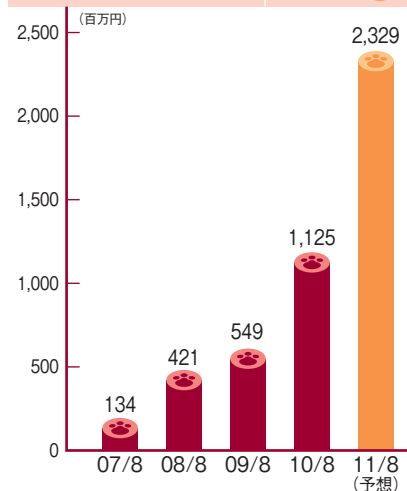
売上高 **219億32百万円** 前期比 **15.7%** ↑up



経常利益 **25億79百万円** 前期比 **80.6%** ↑up



当期純利益 **11億25百万円** 前期比 **104.7%** ↑up



(2008年8月期までは単体の数値です)

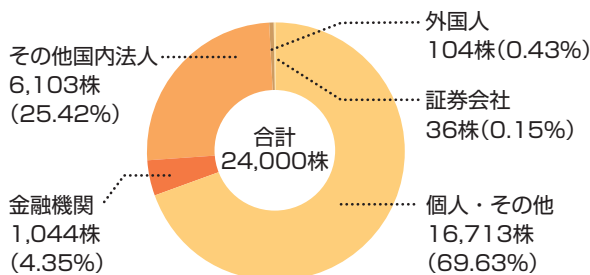
● 株式の状況

発行可能株式総数	96,000株
発行済株式の総数	24,000株
株主数	3,278名

● 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	6,000	25.00
腰高博	4,749	19.78
腰高修	3,970	16.54
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	668	2.78

● 所有者別株式分布状況



最新情報は、
ホームページを
ご覧ください

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

● 会社概要 (2010年10月末日現在)

会社名	株式会社コシダカホールディングス
英訳名	KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
設立年月日	1967年3月31日
本社	群馬県前橋市大友町一丁目5-1
資本金	4億9,360万円
事業内容	カラオケ事業 (店舗数：310店舗) カーブス事業 (加盟店舗数：901店舗) ボウリング事業 (店舗数：13店舗)
従業員数	グループ従業員 2,488名 (2010年9月末日現在) (正社員715名、パート・アルバイト1,773名) パート・アルバイトは、1日8時間換算人数

● 役員 (2010年11月25日現在)

代表取締役社長	腰高博
専務取締役	腰高修
取締役	朝倉一博
取締役	腰高美和子
取締役	土井義人
常勤監査役	茂木功
常勤監査役	赤岩好夫
監査役	寺石雅英

● グループ会社 (2010年10月末日現在)

株式会社コシダカ
株式会社カーブスホールディングス
株式会社カーブスジャパン
株式会社北海道コシダカ
株式会社スポルト
株式会社韓国コシダカ

株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年8月31日 毎年2月末日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
住所変更のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
「配当金計算書」について	配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。 なお、配当金額収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。 ※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2157

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

株式会社コシダカホールディングス

〒371-0847 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
TEL:027-280-3381(代) FAX:027-280-3382
URL:<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>